

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/12 （1/5との比較）	1/12 （1/5との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.17% （+0.02）	89.14円 （▲2.15%）	+3.0% 2017年3Q	1.00%	住宅着工件数は市場予想を上回るも住宅建設許可は市場予想を下回り、経済指標はまちまちな展開。米国のNAFTA（北米自由貿易協定）離脱懸念の高まりを受けて、カナダドルは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	景況感指数や政策金利などの発表を予定。市場では利上げを予想。NAFTA再交渉の先行き不透明感の高まりもあるものの、原油価格の堅調な推移からカナダドルはレンジ内の推移を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.08% （▲0.09）	34.64円 （▲1.05%）	+1.4% 2017年3Q	7.00%	小売売上高は市場予想を上回る結果。財政再建見通しの先行き不透明感が高まったことから、米大手格付機関1社が同国の債務格付の引き下げを決定。市場の円高傾向を受けて、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	主な経済指標の発表はなし。議会における年金改革協議の停滞などの政治的リスクは残存するものの、債券・為替市場は他国の経済動向などに左右される展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.50% （+0.06）	5.83円 （▲1.01%）	+1.5% 2017年3Q	7.25%	消費者信頼感指数や鉱工業生産は市場予想を下回る結果。米国のNAFTA離脱可能性が高まったことに加え、中銀総裁が1月のインフレ率の見通しを引き下げたため、ペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	主な経済指標の発表はなし。米国のNAFTA離脱を決定した場合、中銀が目標とするインフレ抑制がより複雑になるとの見方が強まるため、ペソの上値は重い展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。













国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/12 （1/5との比較） 今後の見通し （※4）	1/12 （1/5との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.75% （+0.12）	87.92円 （▲1.11%）	+2.8% 2017年3Q	1.50%	住宅建設許可件数や小売売上高は市場予想を上回る良好な結果。原油価格や鉄鉱石価格が堅調に推移するも、市場の円高傾向を受けて、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	雇用統計などの発表を予定。世界的なリスク選好姿勢から引き続き株式市場や原油価格、鉄鉱石価格が堅調に推移すると想定されるため、豪ドルは底堅い展開を予想。中国の鉱工業生産の発表にも注目。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.85% （+0.08%）	80.45円 （▲0.79%）	+2.7% 2017年3Q	1.75%	住宅関連統計は、本年1月からの住宅ローン規制強化を控えた駆け込み需要もあり堅調。酪農品先物価格の持ち直しが好感される中、円の全面高を受けて、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	住宅売上が規制強化のタイミングをまたぎ基調を判断しにくいこともあり、製造業PMIなどその他の経済指標で、景気が再加速する兆しが見られるかが注目材料。為替市場は商品市況動向に左右される見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.65% （+0.11）	14.02円 （▲0.22%）	+3.2% 2017年3Q	0.50%	欧州全体で景気拡大基調が続く中、製造業生産の伸び率は緩やかに上昇。インフレ率は前回分からやや回復。原油価格は堅調に推移するものの、円が全面高となる中、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	原油価格が堅調に推移しており、景気回復の足取りが今後も強まる公算。住宅価格指数や貿易収支などの発表を予定。貿易収支で原油価格上昇の効果が見られれば、今後の利上げを予想する見方が強まる可能性がある。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（南アフリカ、インドネシア、インド）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/12 （1/5との比較） 今後の見通し （※4）	1/12 （1/5との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.88% （+0.04）	8.99円 （▲1.92%）	+0.8% 2017年3Q	6.75%	発表された製造業生産は、前回分と市場予想を下回る結果。与党会合で現大統領の進退に関する討議が行われず、政権の早期新体制移行への期待が後退し、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	政策金利や小売売上高などの発表を予定。短期では不安定な政治体制を背景に、変動率の高い展開を想定。長期では財政難など、山積した課題が債券・為替市場への下押し圧力となると想定。
	Baa3	 金利上昇	 景気鈍化	 利下げ局面			
インドネシア 	BBB-	5.76% （+0.02%）	0.83円 （▲1.21%）	+5.1% 2017年3Q	4.25%	外貨準備高は増加し、高水準を記録。海外投資家による債券売買フローの純流入が続いたものの、欧米での金利上昇に追随し、国債利回りは小幅上昇。市場の円高傾向を受けて、ルピアは対円で下落。	金融政策決定会合を予定。原油などの商品価格が上昇する中、今後のインフレ圧力が高まることなどを背景に政策金利は据え置きを予想。また、国債入札結果にも注目。
	Baa3	 金利低下	 景気拡大	 利下げ局面			
インド 	BBB-	7.26% （+0.11）	1.75円 （▲2.20%）	+6.3% 2017年3Q	6.00%	CPIや鉱工業生産は市場予想を上回る結果。GST（物品・サービス税）の導入に伴う一時的な影響から、政府は2017年度の成長率を下方修正。また、原油価格の上昇を受けて、ルピーは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支などの発表を予定。債券・為替市場は海外市場の影響を受けやすいものの、国内の安定した成長から下値は堅い展開を想定。引き続き原油価格などの動向にも注目。
	Baa2	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面			

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1か月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

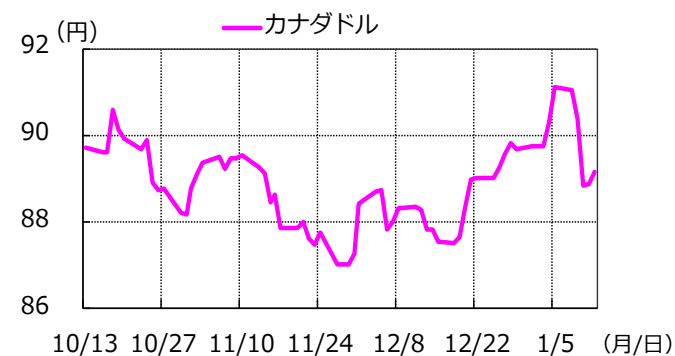
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

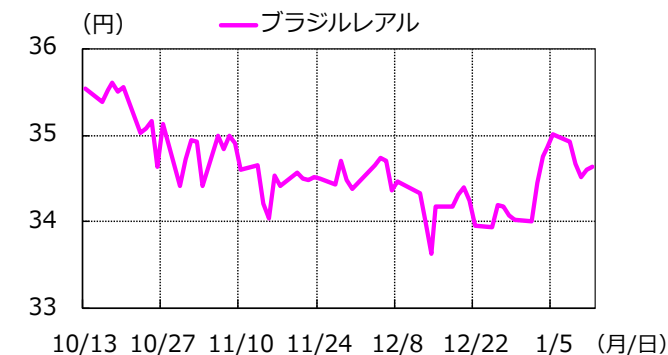
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/10/13～2018/1/12

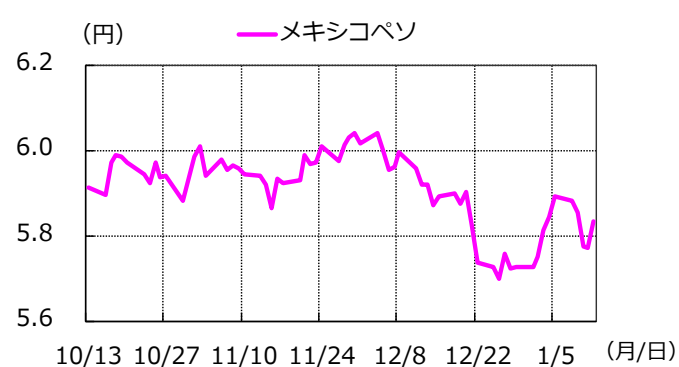
カナダ



ブラジル



メキシコ

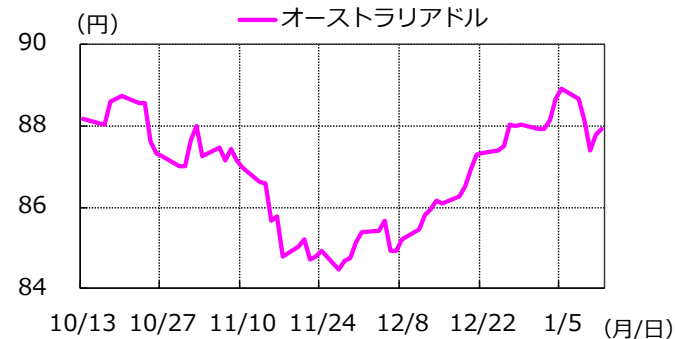


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

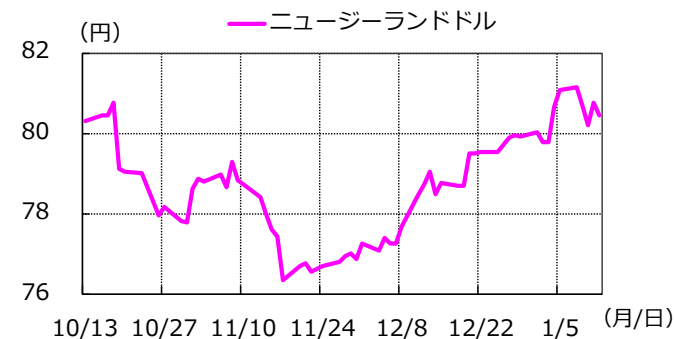
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/10/13～2018/1/12

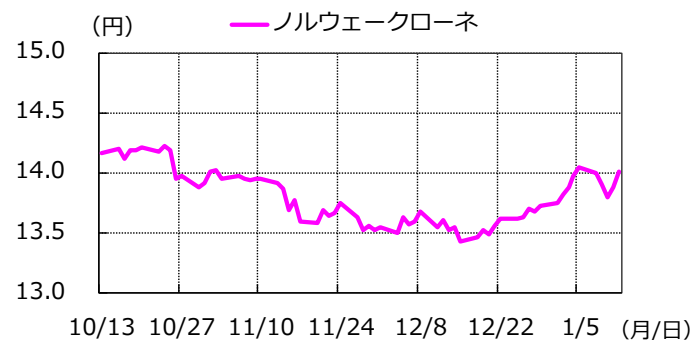
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

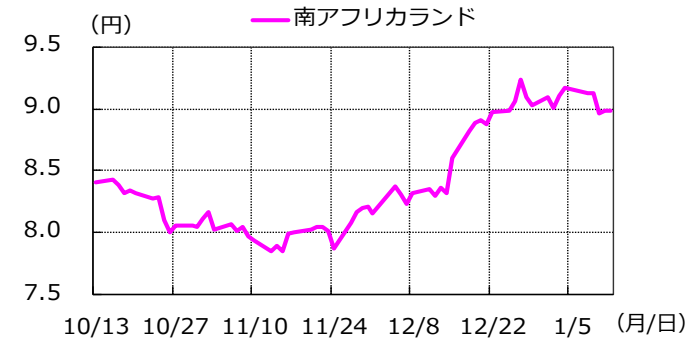


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

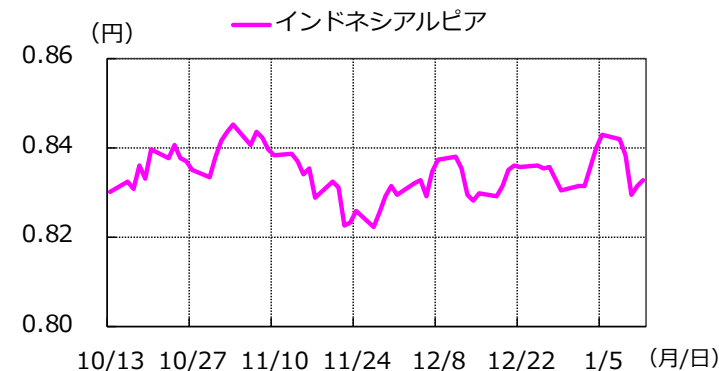
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/10/13～2018/1/12

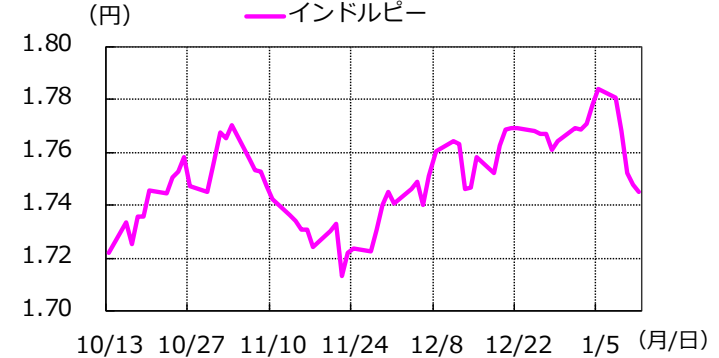
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。